

【NO 491】

令和4年3月

下関港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

この委員会では、下関港新港地区のクルーズ専用岸壁への17万GT級客船及び22万GT級客船の入出港及び係留の安全性について調査・検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

調査検討にあたって、対象岸壁は暫定供用開始時を基本とし、22万GT級客船の入出港操船に関しては岸壁完成後も対象とした。また、22万GT級客船の諸元は、操船への影響が大きいと考えられるオアシス級最大船舶の諸元を用いるものとした。入出港時の安全性の検討では、接岸速度や横移動制動力等に関する基礎検討を行ったうえで、ビジュアル操船シミュレータ検証実験において入出港操船及び着離岸操船の安全性を評価した。

係留の安全性の検討では、OCIMFの計算手法を用いて係船柱強度と係留索許容張力から係留力を求め、安全に係留可能な条件を検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 大型客船受入計画
- (3) 航行環境
- (4) 既往調査概要（平成29年度報告）
- (5) 基礎検討
- (6) 入出港時の安全性検討
- (7) 係留時の安全性検討
- (8) 航行安全対策